

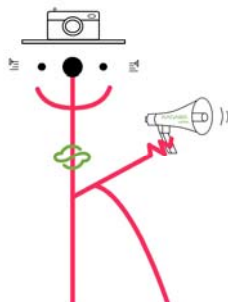
平成23年3月11日

公開シンポジウム

ファイトジーンの可能性と未来 III

植物の遺伝子組換え技術は、今後の植物科学の最も重要な分野の一つです。今回のフォーラムは、このような技術を用いた植物基礎研究成果は、将来どのような実用化に結びつく可能性があるかと考えるのかを、具体的な提案例で紹介して、今後のこの分野の方向性を広く理解するとともに、香川大学で行われている植物遺伝子関連の研究を紹介することを目的としています。参加無料ですので、奮ってご参加ください。

1. 日 時／ 平成23年3月22日（火）
13:00～17:00（入場無料）
2. 場 所／ 香川大学農学部キャンパスBW106講義室
3. 内 容／ ◇基調講演
「植物ゲノム研究がめざすもの」
田畑哲之 かずさ DNA 研究所
◇研究報告
「田圃からのメッセージを遺伝子レベルで読み解く
～セジロウカによるイネ間接抵抗性誘導機構～」
五味剣二 香川大学農学部助教
「塩生植物の耐塩性機構の解明とその利用」
東江 栄 香川大学農学部准教授
「花を創る咲かせるファイトジーン」
深井誠一 香川大学農学部教授
「希少糖の応用開発とファイトジーン研究による機能解明」
秋光和也 香川大学農学部教授
4. 主 催／ 香川大学農学部・農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター



➤ 問い合わせ先

香川大学 農学部庶務係 藤沢

TEL : 087-891-3008 FAX : 087-891-3021

E-mail : ashomut@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

ファイトジーンの可能性と未来Ⅲ

【Phytogene】

と き 平成23年3月22日(火) 午後1時00分~5時00分
ところ 香川大学農学部 BW106 講義室 (大講義室)
参加費 無料

◆基調講演

「植物ゲノム研究がめざすもの」

田畑 哲之 かずさDNA研究所

◆研究報告

「田圃からのメッセージを遺伝子レベルで読み解く
~セジロウカによるイネ間接抵抗性誘導機構~」

五味 剣二 香川大学農学部助教

「塩生植物の耐塩性機構の解明とその利用」

東江 栄 香川大学農学部准教授

「花を創る咲かせるファイトジーン」

深井 誠一 香川大学農学部教授

「希少糖の応用開発とファイトジーン研究による機能解明」

秋光 和也 香川大学農学部教授

主催：香川大学農学部
農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene>

問い合わせ先 香川大学農学部庶務係 087-891-3008 まで